

「とも」の拠点

液状化で全壊



本部の躯体の中央が地盤沈下し、建物が歪んだため屋根が波うっています

「とも」の拠点罹災によるご寄付のお願い

理事長 西田 良枝

■拠点を失って

3月11日の東日本大震災により、「とも」の事務所とケアルームのある建物が全壊となり、法人本部や総合相談センター、24時間365日のホームヘルパー派遣の拠点、完全バリアフリーで宿泊もできるケアルームなどの機能を担っていた建物を失ってしまいました。

「とも」の事務所がある今川周辺は、道路の地割れ、陥没、液状化などで甚大な被害を受け、未だに下水道が復旧していません。

利用者さんと職員は全員無事でした。それが大きな救いです。

■ 10年の積み重ねを全て失う

全壊となった建物は、「とも」がJR東日本開発から賃貸物件として借り受けていましたが、空の倉庫のように何も無い状態で引き渡しとなり、部屋の仕切り壁や床張りも含めた内装工事や電気配線、水道敷設、空調設備などのすべてを「とも」の資金で行いました。その資金は、「とも」がNPO法人だった時代の4年間に、「とも」を応援して下さるみなさんと法人職員が、様々なイベントでフリーマーケットや朝市などの販売活動をした売り上げと、職員が提供した障がい福祉サービスや介護保険サービスによる事業収入から少しずつ積み立てた資金によって、5年前にやっと建てたものでした。

NPO法人設立以来、ずっと、手狭なマンションの一室を拠点としてきて、やっとの思いで手に入れた建物でした。それを、一瞬にして失ってしまいました。津波には見舞われなかったため建物の形は残っていますが、大きく傾き、壁や床のいたるところに亀裂が入り、全壊というJR東日本開発の判断で、ここでの賃貸借契約は3月12日をもって「終了」となり、建物は取り壊されることになってしまいました。

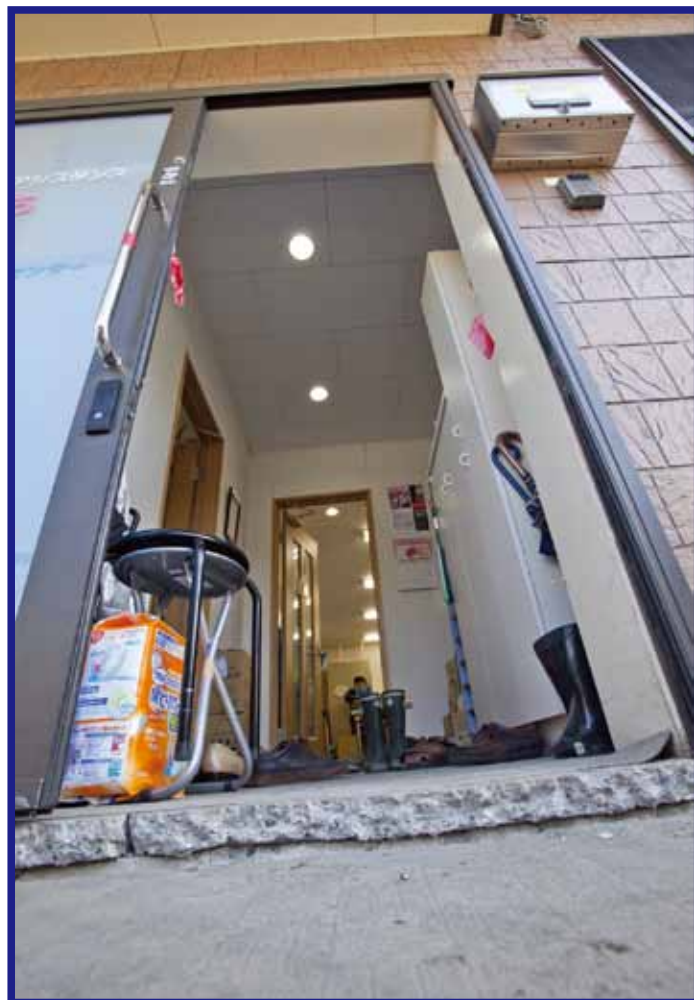
■それでも、24時間支援を提供

重要な書類や荷物は被災したその日から運び出す一方で、スタッフは、地震直後からも休むこ



天井からひび割れが入り、
ドアは斜めに曲がっています

本部の外側通路が地盤沈下し、
入り口と段差ができました





傾いた建物と電柱。電線が地面近くまで垂れ下がりました
(今川センター前道路)

傾いた道路標識と地下から噴出した泥
(今川センター前)



となく利用者さんの安否を気遣いながら、地域生活には欠かせない24時間のサービス提供を続けています。

■拠点の間借りしての活動

当面の事務所機能は、NPO法人タオさんのご協力により、場所を間借りしてしのいでいます。「とも」の事業の多くは利用者さんと共にあるので、あまり建物は重要ではありませんが、自分たちが仕事をする拠点となる建物がないことは、家を失った人たちと同じように気持ちが落ち着かず、不安と焦燥感が増してきます。

■拠点再建に向けて

今後、当面の仮設事務所への入居費用や移転費用、新たな事務所を見つけた後は、その入居費用や移転費用、内装・設備費用などたくさんの経費がかかります。

また、ケアルームも同時に失ってしまったため、サービス提供の減少による収入減も見込まれます。併せて、浦安市が震災復興のために、すべての事業予算を20%削減するという方針も出され、浦安市からの指定管理・委託・補助事業などの補助金の減収が決まれば、法人としての事業収入が大幅に減少することとなり、拠点となる建物の再建は非常に厳しい状態です。

支援のお願い

一日でも早く新たな拠点を確保するために、法人としても全力で取り組んで参りますが、このような事情をご理解いただき、「とも」の拠点となる建物の再建に向けて、皆さまのお力添え、ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

寄付金

「とも」への寄付は、以下の税制上の優遇措置があります。

- ◆個人の方は、所得税に係る「寄付金控除の対象」になっています。
- ◆法人の場合は、一般の寄付金とは別枠で損金の額に算入することができます。
- ◆相続や遺贈によって受けた財産を寄付した場合は、その分は相続税の対象外となります。

- 寄付金振込先 -

京葉銀行 新浦安支店 普通口座 5429332
口座名義：社会福祉法人
パーソナル・アシスタンスとも
理事長 西田良枝



壁がずれ、壁紙が剥がれたケアルーム



建物が歪んだため、机が傾き、窓が変形しました
天井や床の境目に壁紙の剥がれが発生しています
(本部)

建物や土地など

市内で拠点を確保することが非常に困難な現状があります。

建物や、
建物を建てるための
土地など

の提供という形での支援
もあわせてお願い申し上げます。